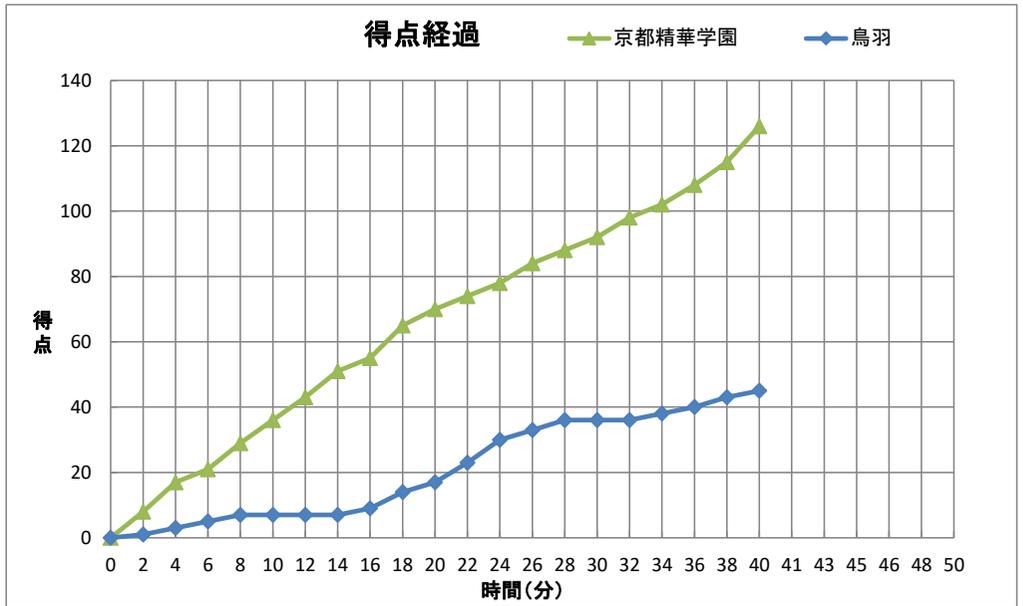




第44回京都府高等学校バスケットボール選手権大会 兼
第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会 京都府予選

個人トータル表

女子		11月2日		12:10 開始															
決勝リーグ		島津アリーナ京都		Aコート															
◎ 京都精華学園 126		<table border="1"> <tr><td>36</td><td>1st</td><td>7</td></tr> <tr><td>34</td><td>2nd</td><td>10</td></tr> <tr><td>22</td><td>3rd</td><td>19</td></tr> <tr><td>34</td><td>4th</td><td>9</td></tr> </table>		36	1st	7	34	2nd	10	22	3rd	19	34	4th	9	45		鳥羽	
36	1st	7																	
34	2nd	10																	
22	3rd	19																	
34	4th	9																	
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則						
* 4	林 咲良	0	0	0	0	0	* 00	初瀬川 陽春	10	2	1	2	3						
* 5	橋本 芽依	2	0	1	0	1	3	下川 真葉	0	0	0	0	1						
* 6	桃井 優	0	0	0	0	3	11	稲葉 一花	0	0	0	0	1						
7	大久保 舞奈美	5	0	2	1	2	17	藤井 優奈	4	0	2	0	0						
8	山田 優利亜	6	0	3	0	1	20	上田 沙稀	4	0	2	0	1						
9	高山 留里那	4	0	1	2	0	* 25	田中 穂純	2	0	1	0	1						
10	関 晴香	11	0	5	1	2	27	饒平名 厘	7	0	3	1	3						
11	吉田 ひかり	6	0	3	0	0	29	宮本 なつみ	2	0	0	2	2						
12	谷 彩南	10	1	3	1	1	* 31	安達 舞	1	0	0	1	0						
13	満生 小珀	7	0	2	3	0	* 32	西田 心美	7	0	3	1	2						
14	金谷 悠加	4	0	2	0	0	* 33	和田 寧々	6	2	0	0	1						
15	ンガルラ ムクナ リヤ	13	0	6	1	0	45	秋山 結香	0	0	0	0	0						
* 16	石渡 セリーナ	20	0	10	0	0	62	巖 詩乃	2	0	0	2	2						
17	坂口 美果	19	1	8	0	2	75	宮本 のぞみ	0	0	0	0	0						
* 18	ユサフ ボラン	19	0	9	1	1	93	廣田 朝羽	0	0	0	0	0						
コーチ	山本 綱義					0	コーチ	富山 唯					0						
Aコーチ	豊田 薫						Aコーチ	川端 奏絵											
合計		126	2	55	10	13	合計		45	4	12	9	17						
主審: 赤井 正史																			
副審: 小柿 茉智子																			
副審: 片山 峻																			



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:
TeamB	3:06	16:12	:	:	:	:

〔戦評〕 ウィンターカップ京都府予選 決勝リーグ第1戦 京都精華学園 VS 鳥羽

第1Q 両チームオールコートマンツーマンでゲームスタート。始めに京都精華学園#18のゴール下のシュートをしっかり決め先制点。負けじと鳥羽も#31がドライブインからファールをもらい、落ち着いてフリースローを決める。京都精華学園はポストプレーを積極的に使い、外角のシュートを打つのもオフェンスリバウンドにしっかり入り確実に得点し、点差を引き離す展開に。鳥羽も#25のポストプレーで対抗するが中々シュートを決めることができない。ここで流れを変えたのは鳥羽#32。速攻から合わせて得点し、続けてゴール下も決める。第1Q終了間際、京都精華学園#12が3Pを決め、京都精華学園36-7鳥羽で第1Q終了。

第2Q 京都精華学園#9のベースラインドライブからレイアップを決める。京都精華学園は#15のハイポストから巧みなステップワークでシュートを決め、加点していく。鳥羽は#20のゴール下で応戦する。京都精華学園は#17のミドルシュートを確実に得点し、たまたま鳥羽がタイムアウトを要求する。タイムアウト明け鳥羽#27が鋭いドライブからレイアップを決め反撃開始。今度はトップからドライブインでファールをもらい、バスケットカウント、フリースローも決め3点プレーにする。京都精華学園70-17鳥羽で第2Q終了。

第3Q 両チームスターティングメンバーに戻し開始。鳥羽#32がドライブからバスケットカウントを決め3点プレーに。続けて鳥羽#00の3Pが決まり連続得点に成功する。対する京都精華学園は前半同様インサイドプレーを中心に得点していく。京都精華学園#13が巧みなドリブルワークからジャンプシュートを決める。両チーム選手が交代し、京都精華学園は激しいディフェンスからボールを奪い、速攻で得点していく。京都精華学園#17が見事なターンからのシュートを決め、京都精華学園92-36鳥羽で第3Q終了。

第4Q 京都精華学園は#7の前からのプレッシャーディフェンスが光り、ゴール下のシュートで得点する。鳥羽も#45から#20のハイロープレーで対抗する。京都精華学園は#11がドライブから見事な合わせのプレーを披露する。両チーム多くの選手が出場し、総力戦でのゲームであったが、インサイドのプレーで勝った京都精華学園が京都精華学園119-45鳥羽で決勝リーグ初戦を勝利で飾った。